



— 本日のプログラム —

- ◆国歌斉唱『君が代』
- ◆ロータリーソング『奉仕の理想』
- ◆卓話 西 豊会員
テーマ『保険関連あれこれⅡ』

第2448回例会（10月29日）報告

司会 曾又博史 S A A 委員長

- ◆開会点鐘 中室勝郎会長
- ◆ゲスト・ビジター紹介 中室勝郎会長
- ・米山奨学生
ファミ・ドゥック・チュンさん（ベトナム）
ニルファエル・ムタリフさん（中国）
ヤン・リッサンさん（中国）
チョウ・オウメイさん（中国）
- ・若野恒彦（高岡 R C）地区ロータリー米山記念奨学会委員長
- ・藤間勘菊（金沢百万石 R C）地区ロータリー米山記念奨学会副委員長・米山記念奨学生小委員会委員長
- ・大路孝之（金沢百万石 R C）米山奨学生カウンセラー
- ・吉田國男（金沢 R C）米山奨学生カウンセラー
- ・大屋小学校 校長 近藤和彦先生
- ・大屋小学校 6 年生担任 本田秀仁先生
- ・大屋小学校 6 年生児童のみなさん
- ◆会長の時間 中室勝郎会長

「霧の中を歩めば覚えざるに衣湿る」

曹洞宗・道元禪師が中国より持ち帰った教えに「霧の中を歩めば覚えざるに衣湿る」があります。浅い霧の中でも、長く歩いていると知らぬ間に着衣が湿って濡れていたと言うことでしょう。

一般には環境によって人は作られます。稀に革命のように人が環境を作ることがありますが、通常は環境に左右されがちです。霧の中をごく短い時間歩いても着衣が湿ることはありません。人は長く一定の環境に居ると、その環境に染まります。道元が食事や作業を始め、全ての時間を修行とした理由が少し理解できます。

ロータリーは、毎週一定の時間を奉仕の理念を共有する同志と共に過ごす時間を例会としています。道元の「霧の中を歩めば覚えざるに衣湿る」共通するものがあります。米山梅吉が例会を道場と呼び修行と位置づけしました。クラブ奉仕が奉仕部門の第一である理由です。そして、例会を活動の中心として絆を深めるのがフェローシップです。会長の時間の役割は修行の手助けとなるロータリーの精神の啓蒙が目的です。

◆大屋小学校 近藤校長先生より

本日は青少年育成プログラムにお招きありがとうございます。昨年参加した児童から大変良かったとの声が上がっておりました。今日の座禅、お寺の掃除などを通して色んなことを感じたと思います。この先も精進料理、留学生との交流でいろいろ感じてもらえると思います。

よろしくをお願いします。

◆ニコニコBOX報告 熊倉 元委員長

・大変すばらしい企画に参加させて頂き、お世話されたクラブの方々に御礼申し上げます。一人でも多くの有意な米山奨学生を支援する為に、今後ともより一層のご支援ご協力をお願いいたします。 若野恒彦（高岡 R C）地区ロータリー米山記念奨学会委員長

・今日はお世話になります。

藤間勘菊（金沢百万石 R C）地区ロータリー米山奨学会副委員長・米山記念奨学生小委員会委員長、

大路孝之（金沢百万石 R C）米山奨学生カウンセラー・米山奨学生と大本山總持寺祖院例会に出席します。よろしくをお願いします。

吉田國男（金沢 R C）米山奨学生カウンセラー・總持寺例会に大勢のゲストをお迎えして。

中室勝郎会長
・米山奨学生のみなさん、ようこそおいで下さいました。本日はよろしくをお願いします。 今井善弘会員

・米山奨学生の皆様、そして付添人の方々、今日は早朝からご苦勞様でした。 大西哲雄会員

・座禅体験をさせて頂きました。 新橋康紀会員

◆閉会点鐘 中室勝郎会長

◆例会終了後、米山奨学生と大屋小学校児童との交流会となりました。



◆閉会点鐘 中室勝郎会長

[編集：谷口正和会員]